

なごみま専科



facebook / 7770

検索:趣味の呉服ゆうき



ゆかた

浴衣

新春号でご紹介した申年にまつわるお話。申年は災害の年と書いてしまいそれが現実になってしまいました。熊本県を中心に襲った大地震。被災された方々は、これまでにない災害に直面し、まさに路頭に迷われている状態です。今や、いつ、どこで、どんな災害に見舞われるか分からない時代。やはり日頃の備えは大切だと思いました。災害には勝てないかもしれませんが、少しでも抵抗できるように準備はしておきたいものですね。さて、季節は早くも夏を迎えようとしています。夏と言えば浴衣のシーズン。日本の夏は浴衣で過ごしてほしいものです。最近では、浴衣をファッションとして楽しまれる方が増えてきました。元々は、「湯帷子(ゆかたびら)」といったものが、「浴衣」になっ

たと言われています。江戸時代以前は、お風呂と言えば湯船につかるのではなく、蒸し風呂に入っていました。現代ならサウナのようなもので、肌を隠したり、蒸気から肌を守るために、麻でできた湯帷子を着て入浴していた。江戸船につかる風習ができ、木綿が庶民の間に広まったことから、入浴後に浴衣を着てくつろぐようになったそうです。元々は人前で着るものではなかった浴衣が、今や、夏のファッションとして変化していったのですから、日本の文化も時の流れと共に変化していくのですね。



きものできのさき

5月8日、母の日のイベント「きものできのさき」。参加して下さった皆様の日頃の行いが良かったのか、雨女の異名を持つ三代目のジンクスを物ともせず、最高の天気にも恵まれました。たんたん落語会からは、「Q亭はにい」「尼乃家河鹿」「春歌亭丹馬」様に落語の奥深さや面白さを教えていただきました。落語は素晴らしい日本の伝統芸能だと改めて感じさせられ、大いに笑わせていただきました。落語の後は、川口屋城崎リバーサイドホテル自慢の美味しいお料理をいただき、楽しく談笑した後、記念撮影。きもの姿がこれだけ集まると、嬉しくなります。食



事後は、きもの姿で城崎の町並みをぶらり。プロカメラマンが同行し、素敵なショットをたくさん撮影してくださいました。全てをご紹介できないのが残念ですが、この日撮影していただいた写真は、後日ゆうきで展示する機会を作りたいと思います。一部Facebook、ブログにも掲載していますので、是非見てください。参加していただいた皆様、そして、ご協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。



三代目奮闘記

夏の彩り

昨年、三代目の発案で、ゆかたの撮影会を開催したところ、大盛況。味をしめた三代目は、愛想の良さをフルに発揮して新たな協力者をつくり、今年は更にバージョンアップをもくろみ奔走中。張り切りすぎると悲鳴を上げる体を改善しようと、テレビでやっていた「酢生姜」を我慢して食べ続けながら、免疫力アップに努めているのでした。



女将のつぶやき



着物でお洒落を楽しむ方が徐々に増えてきました。とても喜ばしいことなのですが、礼装着が中心だったゆうきでは、新たな商品選別に四苦八苦。同じお洒落着でも、やはり、国内生産へのこだわりは捨てられず、お値段も手頃で、上質な物を提供するため、日夜勉強中。写真の草履は、菱屋製カレンブロッソの草履ですが、取引先のオリジナルブランド。大変人気の商品でなかなか入荷しない貴重な商品です。

